

平成28年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

| No. | 新規・継続 | 事業名 | 予算額(円) | 決算額(円) | 所管課 | 事業概要 | 実績 | 今後の方向性 |
|---------------------------|-------|--------------------------|-----------|-----------|----------|--|---|--|
| 1 芸術・文化のまちづくり事業 | | | | | | | | |
| 1 | 継続 | 麻生音楽祭開催事業 | 3,600,000 | 3,458,504 | 地域振興課 | 「芸術・文化のまち麻生」の一環を担う事業として、麻生区を中心に音楽活動をしている音楽団体、小学校・中学校・高等学校などの音楽グループが、それぞれの自主性を尊重しつつ、日ごろの活動の成果を披露し、相互の交流を図りながら、互いに学び合うという精神を生かすとともに、広く区民のきずなを深め、区政の推進と芸術文化の向上を図る場として実施する。 | ・平成28年6月12日～7月3日の計7日間開催 ・パンナーフラッグ掲出やチラシ、ポスター、Facebook等の広報活動を通じ、「音楽の街あさお」を多くの市民にPR | 市民が参加して企画・運営を行う麻生音楽祭は、芸術・文化のまちづくりを推進するために継続が必要な事業である。今後は、参加者・入場者数増加のため広報活動を強化すると共に、広報経費の見直し等を行い、事務改善の可能性を検討していく。 |
| 2 | 継続 | あさお観光資源の魅力紹介事業 | 783,000 | 768,980 | 地域振興課 | 麻生区の魅力を内外に発信するため、麻生観光協会と連携して、10月21日の「禅寺丸柿の日」を中心とした禅寺丸柿に関連するイベントや、観光写真コンクールを開催する。 | 観光写真コンクールを実施し、区内外から177点の応募があった。禅寺丸柿の日関連イベントとして、禅寺丸柿柿もぎ体験(定員20名、申込187名)、禅寺丸柿に関する小学生の作品展示(区役所ロビーで実施)、禅寺丸柿をめぐる歴史散策(定員30名、申込同)、禅寺丸柿の日PRグッズの配布(区内のまつり等で配布)を実施し、麻生区の地域資源の魅力を広げ発信し、地域のイメージアップを図った。 | ・禅寺丸柿の日関連イベントについては好評だった柿もぎ体験を中心に、広くPRができるよう継続して取り組む。 ・観光写真コンクールについては2年後の開催に向けて、より募集人数が増えるよう効果的な執行方法の検討を行う。 |
| 3 | 継続 | KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会開催事業 | 925,000 | 964,001 | 地域振興課 | 自然豊かで芸術・文化の香り漂い、新たな故郷が感じられるまちづくりが望まれているなか、麻生区に定着している芸術・文化資源「KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会」を有効に活用して、「ふるさとあさお」、「芸術・文化のまち麻生」を提供する。さらには、家族での夏休み最後の思い出作りのお供として提供する。 | ・平成28年8月20日開催(雨天のため体育館内で開催) | 芸術・文化を通じた地域住民の交流やKAWASAKIしんゆり映画祭の事前周知という観点から継続して事業を実施する必要がある。その上で、芸術・文化のまちづくりを区内全域に広げていく観点から、新たな開催会場やKAWASAKIしんゆり映画祭の周知方法について検討していく。 |
| 4 | 継続 | ふるさとあさお再発見事業 | 318,000 | 318,000 | 地域振興課 | 麻生区の豊かな自然の中で育まれた米・野菜・七草を用いて、「古風」の所以である焼いたお餅を加えたお餅を振る舞います。 | 1月7日「第14回あさお古風七草餅の会」の開催 | 地域に伝わる伝統伝承文化を風化させず、後世に継承していくという観点から継続的な事業展開が必要である。 |
| | 継続 | イメージアップ推進事業 | 1,760,000 | 1,589,680 | 企画課 | | | |
| 5 | 継続 | 懸垂幕作成業務 | | | 地域振興課 | 麻生区のイメージアップを図るため、スポーツ・文化活動などの全国大会出場等を応援する懸垂幕を区役所壁面に掲出すると共に、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに芸術・文化関連イベントの柱巻き広報物を設置することで広く地域住民にPRする。 | ・麻生音楽祭(H28.5-7)、「あさお芸術のまちコンサート 新春コンサート」(H28.12-H29.1)の柱巻き広報物の掲示 ・「FCバーンモン」の懸垂幕掲出(H28.6-7)、「桐光学園サッカー部」バスケットボール部)用機布作成(H28.11) | 柱巻き広報物の広報効果は高く、次年度も継続して事業を実施していくが、並行して柱巻き広報物に代わる広報手段について検証していく。 |
| 6 | 継続 | 新百合ヶ丘駅周辺のイベント支援事業 | | | 企画課 | 公民協働の取組のうち、「Kirara@アートしんゆり」を区の共催事業と位置付け、イベント開催に係る参加と支援を行う。 | Kirara@アートしんゆりの支援を実施 | 麻生区の主要な取組である「芸術・文化のまちづくりの推進」にむけて、公民協働によるイベントを実施し、地域を活性化し、区の魅力をPRすることが求められているため、本事業を継続して実施していきます。 |
| 7 | 継続 | 地域資源を活用したまちづくり推進事業 | 800,000 | 439,720 | 企画課 | 地域の特色や教育機関、企業等が持つ資源を活用し、各種団体と協働して魅力ある地域づくりに取り組むことを目的として、法人・団体等から地域資源を活用した事業の提案を受けて委託することで、区のイメージアップを図る。 | ・麻生区・6大学公学協働ネットワークを通じて、明治大学「黒川農場収穫祭」で、昭和音楽大学卒業生等によるミニコンサートを開催し、芸術まちづくりの発信と広報のイメージアップを図った。 ・川崎フロンターレ新体制発表会見のコンサート一部で、一般の市民の参加者を中心として編成した合唱団によるゴスペルコンサートを行い、麻生区の魅力である音楽資源をPRすることに寄与した。 | 麻生区にある地域資源等を有効活用し、引き続き、魅力ある地域づくりに取り組むことが必要ですが、提案数が少ないため、地域に根付いた教育機関や団体に働きかけ、連携を模索しながら、事業を進めていきたいと考えます。 |
| 8 | 継続 | あさお芸術のまちコンサート事業 | 2,209,000 | 2,207,566 | 地域振興課 | 平成12年度より始まった「あさおランチタイムコンサート」が会場を区役所ロビーから区内ホールへ移し名称を改め実施している。区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進する。 | ・7月16日、3月12日 シネマサロンコンサート(1川崎市アートセンター)・8月23日 ユニホールコンサート(昭和音楽大学ユニホール)・9月30日 区内ホールコンサート(新百合ヶ丘総合病院)・10月22日 区内ホールコンサート(新百合ヶ丘エルミロード)・11月5日 ユニヴァーサルコンサート(新百合21ホール)・1月7日 新春コンサート(麻生市民館ホール) | 音楽を通して様々な交流を活性化し地域のつながりを強めるために、本事業は継続して実施する必要がある。さらに、より良いコンサートづくりに向け、開催場所の検証、他事業との協力・連携の推進、効果的な情報発信の検討などを行っている。 |
| 9 | 継続 | しんゆり・芸術のまち推進事業 | 4,926,000 | 4,821,736 | 地域振興課 | 新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係のさまざまな施設や人材などの地域資源を活かし、事業者、教育機関、市民、行政等の連携により、「しんゆり」を中心とした活力ある地域経済の創造、豊かな地域社会の実現と芸術を通じた幅広い効果追求する「しんゆり・芸術のまちづくり」の取組を区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指す。 | ・Kirara@アートしんゆりに関するイベント支援 ・「しんゆり・芸術のまち」HPやSNSによる情報発信、区内芸術・文化団体が連携したイベントカレンダーの発行 ・「あさお芸術・文化交流カフェ」の開催(8月1日、12月5日) ・新百合ヶ丘駅南口バスターミナルでの柱巻き広報物の掲示(2回・約2か月) | 区内の芸術・文化資源を生かした地域活性化や地域ブランド化に向け、集約した情報発信や芸術・文化団体の交流・連携を引き続き推進するため、本事業を継続していく必要がある。 |
| 2 農と環境を活かしたまちづくり事業 | | | | | | | | |
| 10 | 継続 | あさお花いっぱい推進事業 | 925,000 | 768,463 | 地域振興課 | 区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を目的に、川崎市美化運動実施麻生支部と協働し、公共的空間にある花壇を自主的かつ継続的に管理している団体を支援していく。 | 川崎市美化運動実施麻生支部と連携し、ホームページ、市政だより等での広報の他、町内会会長、子ども会、校長会といった各団体等に広く協力を呼びかけ、支援を必要とする美化活動団体を募った。申請のあった22団体(内、新規団体1)に花苗を提供し、団体の活動の活性化及び地域の環境美化の向上につなげた。 | 自主的かつ継続的に花壇を管理している団体の活動の助成、地域に根ざした活動の発展、地域の環境美化に対する意識向上を達成するため、当事業による支援は重要であり、地域の環境美化活動に対する更なる区民の意識の向上、自然の保護や育成に今後継続的に取り組んでいく必要がある。花苗等の提供方法については、効果的な方法を支援団体からの要望等を踏まえ、検証して実施していく。 |
| 11 | 継続 | 麻生里地・里山保全推進事業 | 980,000 | 980,000 | 生涯学習支援課 | 麻生区は、多摩丘陵の豊かな自然を残しながら、「しんゆり・芸術のまちづくり」などを中心にまちづくりが進められている。しかし、その一方で、心を和ませてくれる里山やのどかな田園風景が、年々失われつつある。このまちの先人達が築いてくれた里山の自然や、その自然とともにある貴重な文化や歴史を継承し、様々な団体や個人との協働や連携を図り、新しい里地・里山の魅力を引き出し、次世代へつなぐための事業を展開する。 | 昨年度より予算を削減した中で、7～12月里地・里山カフェ(万福寺人参事業、からむし講座)や人材育成交流事業「里地・里山ナチュアリスト、あさお里山ごもクラブ」を、それぞれ例年の工夫をして継続しており、今年度の里山フォーラムは実行委員会形式で実施、万福寺人参事業、からむし講座参加者や里地・里山ナチュアリスト養成講座の参加者の中から実行委員としてフォーラム実施に関わる人材が随分と育っている。万福寺にじんじ栽培は区内小学校全校に種を配布し小学校へ向けての栽培補助もを行い、フォーラムではごもクラブ参加者の発表の場を設け、麻生区の農文化の伝承を次世代へとつなげた。 | 事業運営が、現スタッフの高齢化に伴い、若手の担い手を確保しなければ、現スタッフだけでは事業の縮小を避ければならぬ実施継続が不可能となることが想定される。これまでの事業内容を精査し整理していく必要性がある。 |
| 12 | 継続 | ヤマユリ植栽普及促進事業 | 373,000 | 372,198 | 地域振興課 | 区内で自然環境再生への問題意識が高まっている中、地域の環境美化及び地域コミュニティを推進するために、地域の公園緑地管理運営協議会等と連携し、消えつつあるヤマユリの植栽活動を促進、支援し、植栽のノウハウの蓄積、普及を推進する。 | ・地域の公園愛護会等と連携したヤマユリ植栽地の観察・管理活動(6植栽地)と植栽支援(4か所) ・ヤマユリ鉢植え講習会の開催(11月14日)、ヤマユリ育苗講習会の開催(3月30日) ・ヤマユリ開花展示会の開催(6月27日～7月12日)、ヤマユリ鑑賞会の開催(7月4日)、広報誌の発行(年2回) | 区民の関心が高まっているヤマユリの植栽・普及活動は、今後も継続して事業を実施する必要がある。その上で、普及啓発活動についてはニーズや実施体制も勘案しながら、適宜見直しを行っていく。 |
| 13 | 継続 | エコのまち麻生推進事業 | 856,000 | 587,744 | 企画課 | 区民一人一人が取り組める身近なエコ活動を啓発し、区民や市民活動団体等との協働による「エコのまち麻生」を推進する。 | ・ゴーヤのカーテン、生ごみリサイクル講習会を実施する他、企業等と連携し、環境に関わる料理教室を開催した。 ・自然エネルギーの活用促進や地球温暖化防止に向けて、出前講座(1/26)、自然エネルギー学校(5/28、11/19)、子育てフスタ(9/17)及び区民まつり(10/9)への出席、パネルディスカッション(2/4)、太陽光発電相談窓口の設置(6/20、10/24)などを開催した。 ・自然エネルギー利用促進などの講演会を開催 | 自然エネルギーの活用や地球温暖化の防止に向けて普及啓発活動を行う必要性があり、今後も継続して事業を実施していくが、一部事業については業務の見直しを行い、事務改善の可能性を検討していく。 |
| 14 | 継続 | 農と環境を活かした連携事業 | 3,609,000 | 3,451,162 | 企画課 | 区民会議第1期「地元産物と地域交流」第2期「エコのまち麻生の推進」第3期「循環型のまち・生ごみリサイクル」、「グリーンアップ・里山ボランティア」の提言を踏まえ、区内大学や学校、農業振興地域の農業従事者、事業者等と連携しながら、区内にある農業資源(早野・黒川・岡上の農業振興地域、明治大学黒川農場)や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を促進する。 | ・黒川地域連携協議会への参加(年2回)及び地域活性化検討専門部会の開催(年2回)により、関係者相互の理解促進及び調整の場の構築を行った。 ・黒川地域連携イベントを通じた農の魅力発信、地元野菜収穫体験や料理教室等の食農イベントの開催、展示作品・サイン等の製作・設置を実施し、地域連携を促進した。 | 継続して取り組みを行っていくため、協力体制の拡充や各種イベント等取り組みの効率的運営について検討の上事業を実施する。また、黒川地域での取り組みをモデルとして、他地域への展開も検討する。 |
| 3 すこやか・支え合いまちづくり事業 | | | | | | | | |
| 15 | 継続 | あさお福祉まつり開催事業 | 2,344,000 | 2,238,682 | 地域ケア推進担当 | 区内で地域福祉活動に携わる当事者・ボランティア・施設などの活動を広く区民に知らせると共に、福祉について理解を深める「あさお福祉まつり」を開催する。 | 11/13(日)実施。区では福祉分野の恒例行事として定着し、来場者に対し区内の福祉団体・ボランティアの活動紹介や、車椅子体験等の体験、各種福祉施設等の自主製品の販売などを行った。来場者は昨年より増加し、約6,800名となり多くの区民に地域福祉活動の周知を図ることができ、また参加団体同士も含めた連携強化の契機となった。参加団体が運営業務に関わる体制づくりと経費の削減を進めることができた。 | 今年27回目となり、規模も大きく、区内に定着している。また、福祉を身近に感じてほしいという区民発意のもと、自主的な運営体制は年々改善されている。今後も継続して事業運営体制や必要経費の精査を執行し、区民自らで作り、来場区民への有効な啓発の機会として活用する貴重な福祉事業として開催していく予定である。 |
| 16 | 継続 | 公園を拠点にした健康づくり推進事業 | 312,000 | 163,209 | 地域支援担当 | 緑の多い麻生区の特徴を生かして、区民がウォーキングや体操などへの取り組みを通して生活習慣病の予防および介護予防を図り、健康寿命を延伸することを目的として、公園を拠点とした健康ウォークおよび健康体操を継続実施します。 | ・公園健康ウォークの区内6公園での継続実施を支援 ・公園健康体操の区内4公園での継続実施を支援 ・区内町会自治会長への挨拶回りの際、公園を拠点にした活動実施への働きかけを行った。 ・公園体操の効果を実感した参加者が、自主的に駐車場で体操の会を立ち上げ、週1回継続実施している。 | 公園を拠点とした活動の立ち上げについて、町会自治会長へ働きかけが、実施に前向きな返答は得られず、今後は、それぞれの町会自治会でのニーズを継続して把握し、関係機関や有料老人ホーム等の民間企業と連携しながら、その地域に合った形の活動の拠点づくりと公園を拠点とした活動の継続支援を並行して実施する。 |
| 17 | 継続 | 高齢者見守りネットワーク事業 | 100,000 | 15,933 | 高齢・障害課 | ・高齢者と接することの多い地域の事業所(協力事業所)・麻生区内の地域包括支援センター・麻生警察等関係機関と情報交換会を開催し、高齢者の見守り等に係る情報共有を行います。 ・機会を捉えて事業周知を行います。 | ・2月14日、情報交換会を開催 ・3月に、市民向けフォーラムにおいてパンフレットを100部配布 | 高齢者と接することの多い地域の事業所・関係機関等と引き続き連携を図っていく必要があると認識しています。今後とも、情報交換会・連絡会を開催し、顔の見える関係づくり、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進します。また、新たな参加者によりネットワークの充実を図っていきます。 |
| 18 | 継続 | 健康づくり普及啓発事業 | 494,000 | 332,457 | 地域支援担当 | ポスターの掲示、リーフレットの配布、講演会、町会自治会、地域活動グループでの健康教育をとおして、がん検診の普及啓発活動を行う。 | ①公立小中学校の保護者へリーフレット13,400部配布 ②町会自治会、歯科クリニック等へポスター530部配布 ③地域子育て支援センターで地域ボランティアの協力による乳がんの出前健康教育を2回実施 ④9月「健康増進月間」、10月「がん検診普及啓発月間」にあわせて懸垂幕掲出、さらに9月に庁内ビジョンによる動画の放映を実施した。 | 今後は関係機関、ボランティアとの連携協力により、地域子育て支援センターや町会自治会などに出向き健康教育を行い、普及啓発活動を継続していく予定。 |

平成28年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

| No. | 新規・継続 | 事業名 | 予算額(円) | 決算額(円) | 所管課 | 事業概要 | 実績 | 今後の方向性 |
|-----|-------|-----|--------|--------|-----|------|----|--------|
|-----|-------|-----|--------|--------|-----|------|----|--------|

4 安全・安心まちづくり事業

| | | | | | | | | |
|----|----|-------------------|-----------|-----------|--------|---|---|---|
| 19 | 継続 | 麻生区安全・安心まちづくり事業 | 1,997,000 | 1,926,229 | 危機管理担当 | ・社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民、地域団体、事業者、行政機関等の連携及び協働により、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。 ・死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上に向け、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶことを目的に「スクエアドストリート交通安全教室(スタントマンによる自転車事故の再現)」を実施する。 ・増加傾向にある高齢者の事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通運転技術を習得する「シルバードライビングスクール」を実施する。 | ・パトロール用品の貸与及び効果的・効率的なパトロールの実施に関する研修会を行うことなど、地域における安全への取組に対し支援を環境を整備した。 ・麻生区メール配信システムの登録促進、迅速な情報提供を行い、身近な犯罪に対する対応力の強化を図った。 ・スクエアドストリート、交通安全教室、シルバードライビングスクール実施により、交通事故防止を図った。 | 振り込み詐欺などの特殊詐欺といった身近な犯罪や高齢者や自転車の交通事故が増加しており、それらへの対応が必要であることから、事業の目的や方向性は維持し、犯罪や交通事故の態様の変化を受けた見直し・改善のうえ継続することが適切だと考えます。 |
| 20 | 継続 | 麻生区ガイドマップ増刷改訂事業 | 801,000 | 793,800 | 地域振興課 | 区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行する。配布方法は、転入者に転入時に配布することを中心に、区役所窓口にて必要な方に配布する。転入者には知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙防止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧など防災情報も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生の各種情報を盛り込んだものとする。 | ・平成29年3月、麻生区ガイドマップの改訂・発行(12,500部) ・麻生区ホームページ用の地図データ、新百合ヶ丘駅周辺図データの作成、公開 | 地図を中心とした区内の情報は特に転入者にとって必要性が高く、今後も継続して事業を実施し、さらに区の魅力発信を踏まえた内容の改訂や事務改善についても検討していく。 |
| 21 | 継続 | 麻生落書き消し事業 | 149,000 | 112,377 | 地域振興課 | 新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び稀生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止を目指す。また、町会・地区の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを伝え、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進していく。 | ・一般参加者、新百合ヶ丘駅周辺企業、大学生等が参加した落書き消しの実施 (6月4日:ヨネッティー王碑寺周辺、9月24日:麻生川板並木周辺、12月3日:新百合ヶ丘駅周辺) | これまで継続して実施してきた落書き消しの活動により、事業開始当初より落書きが減少しており、今後も地域の美化・犯罪防止に向けて事業を継続する必要がある。今後は、より広く参加者を募りながら、落書き消しの普及啓発活動を一層促進していく。 |
| 22 | 継続 | 小学校区危険箇所案内マップ作製事業 | 303,000 | 140,400 | 危機管理担当 | 交通災害、犯罪に巻き込まれないことを目的に、平成23年度から、小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを作製している。事業を開始した平成23年度及び平成26年度は更新を行い、1年生から3年生までに配付しているが、平成27年度及び28年度は4月に入学する新1年生用に必要部数を増刷し配布を行う。平成29年度更新予定。 | 市民・こども局から送られる新入学児童数の情報と、区民課で把握している各小学校の新入学児童数の情報からこれまでより剰分を削減してマップを作成した。平成29年3月に区内小学校に配布した。 | この事業では3年に一度マップの全面改訂を行い1年から3年までに配布しています。また、校内掲示等を目的としたAO版のマップも作成しています。平成29年度は全面改訂の年度にあたるため、事業の事務改善による費用対効果に与える影響が大きい。この部分を踏まえて見直し・改善のうえ継続することが適切と考えます。 |
| 23 | 継続 | 地域防災力の向上事業 | 3,232,000 | 2,803,322 | 危機管理担当 | 帰宅困難者対策や避難所対策の訓練を地域や関係部署と連携して行い、災害時対応の強化を図ると共に、事務局を担う自主防災組織及び災害対策連絡協議会への支援・連携により、互助体制の強化を図る。風水害時における避難所対応強化のためのマニュアル作成や必要物品の購入を進める。また、職員防災プロジェクトチームの運営により、職員の防災意識の向上と緊急時における行動の習得によって、災害対応の充実に図る。 | ・帰宅困難者対策訓練の実施、避難所宿泊訓練の実施、非常用浄水装置の購入及び訓練の実施、職員防災プロジェクトチームメンバーの帰宅困難者対策訓練への参加及び研修の実施並びに風水害時を想定した避難所開設訓練の実施、自主防災組織及び避難所運営会議への支援の実施、各種研修会や自主防災組織の防災訓練の場における自助の重要性の広報及び啓発活動の実施、災害対策連絡協議会各支部における情報伝達訓練の実施。 | 地域防災力の向上のためには、事業を継続していくことが重要であるため、本部体制の充実のための購入品など一部を除き、少なくとも前年度と同様の水準を確保した事業執行が必要である。さらに、区ごとの防災訓練の実施など、区民が自発的に参加し防災への意識をより高めていく取組みを展開する必要があると考えている。 |

5 総合的な子ども・子育て支援事業

| | | | | | | | | |
|----|----|-----------------|-----------|-----------|----------|--|---|---|
| 24 | 継続 | 子育て支援・企画事業 | 3,968,000 | 2,975,757 | 地域ケア推進担当 | 地域の子ども関連機関や団体と連携し、情報交換、研修、相互協力を行うことにより、地域の実情に合った総合的な子ども・子育て支援事業を実施する。 | ●麻生区子ども関連ネットワーク会議 全体会・研修会、区民向け講座、子育てグループ交流会の開催 ・全体会を5月、11月、3月の年3回実施。研修会は11月に児童虐待予防勉強会(22名参加)、2月にアレルギー研修会を実施した(75名参加)。区民向け講座としては、7月に防災シンポジウムを実施(60名参加)。また、6月に子育てサークル交流会を実施した(14名参加)。 ●子ども関連情報の発信 ・子育て情報誌の作成・配布(「きゅっとハグあさお」6,000部・「麻生区ちびっこおでかけMAP12,500部」等) ・ホームページ、子ども情報コーナー、かわさき子育てアプリの運用 ●子育てグループへの活動支援の実施 ・麻生区子育て人材バンク(派遣件数61件) ・子育てグループ交流会(6月開催 14名参加) ●区民向け講座、イベントの実施 ・父親向け子育て連続講座(全2回)を2回実施。父と子向けイベント「ハハとあそぼう!ハワフルキッズ」を12月に実施。 ・区民向け子育て講座を1月に実施。 ・イオンと連携し、各保育園職員による「親子の遊びタイム」を毎月1回実施。 ・地域の次年度就学予定児童の交流を目的とした「GO GOキッズ」を1月に実施。 ●幼・保・小連携事業の実施 ・代表者連絡会を4月、2月の年2回実施。園長・校長連絡会を6月に実施。実務担当者会議・研修会を6月、10月、1月に実施。 ・幼稚園・保育園職員による小学校訪問を6月、11~12月に実施。また、幼稚園・保育園訪問を7~9月に実施。 ・新1年生向けリーフレット用データを10月に各小学校・幼稚園・保育園あて送付。 ●地域子育て支援事業 ・あさお子育てサポートほいくえんの実施(保育相談、園庭開放、貸出絵本等) ・栄養士による試食付き離乳食講座を5回実施。看護師による健康講座を8回実施。 | 今年度の実施結果を検証し、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行うとともに、地域全体で子育て世帯を支える子ども・子育て支援を推進します。 |
| 25 | 継続 | 子ども関連大学連携事業 | 2,357,000 | 2,205,166 | 地域ケア推進担当 | 麻生区・6大学 公学協働ネットワークに基づき、各大学の特色や資源などを活用した、総合的な子ども・子育て支援事業を推進する。 | ●昭和音楽大学との連携事業(子ども一緒にのコンサート)9/24実施187組564名来場、交流コンサート12/10実施118名来場) ●和光大学との連携事業(豆休みファミリー体験学習in鶴見川 8/6実施 46名参加) ●田園調布学園大学との連携事業(「あそぼう けろけろ田園チャイルド」)9/1・1/19実施、それぞれ34組・36組参加。「作ろう!みんなの動物園 キッズワークショップ」38組参加) ●日本映画大学との連携事業(子ども映画大学8/17-20 39名参加) ●明治大学との連携事業(アグリ・エコファーム体験in明大黒川農場10/22 26組52名参加) ●玉川大学との連携事業(「赤ちゃん学講座(全3回の連続講座形式)」)9/21・10/31・11/25実施、それぞれ59・60・48名参加。「親子で体験アドベンチャーin玉川大学TAPセンター」10/29実施、15組30名参加) | 今年度の実施結果を検証し、各大学とも調整を図りながら、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行い、より効果的な子ども・子育て支援を推進します。 |
| 26 | 継続 | 外国籍等子ども学習支援事業 | 547,000 | 546,646 | 地域ケア推進担当 | 外国につながる児童・生徒たちの学習を地域で支援するため、学校での個別の学習支援や地域拠点(市民館・こども文化センターなど)での集団学習支援を行う。 | ・麻生区内の外国につながる児童・生徒に対して学校の授業中や放課後に個別指導を行った。 ・区内の公共施設等を利用して、委員の自由参加による集団支援を学校の長期休業中に実施したり、児童・生徒の親睦会を実施し交流を図った。 ・事業活動が学校内のため、学校支援センターと連携を図り実施した。 | 毎年麻生区内の学校現場からの要望が増加しているが、団体の人数の関係ですべての要望に答えられないため、今後は新たなボランティアの養成及びさらなる質の向上を図るための研修を実施していく。 |
| 27 | 継続 | 子ども相談・要保護児童支援事業 | 238,000 | 230,928 | 地域支援担当 | 0歳から18歳までの子育てや児童に関する様々な相談に対して、地域支援担当の複数の専門職が役割連携し協力して対応しています。特に児童虐待の早期発見、早期対応に向けては、要保護児童対策地域協議会を軸に地域のネットワークを構築すると共に、必要に応じて、所内地部署や児童相談所、地域療育センター、保育園、学校、民生委員等とのカンファレンスや会議を実施し課題解決に向けて支援を行います。また、職員の対応スキルの向上を図るため研修会を実施し相談に活かしていきます。 | ・要保護児童対策地域協議会実務者会議(連携調整部会、代表者部会)を計14回、個別支援会議を計75回実施し、児童相談所や児童関係部署、機関と要保護児童等への対応や役割について協議し、連携体制の強化を図った。 ・児童関係機関や職員向けの事例検討会(SV)を計6回、研修会を計3回実施し、児童関係職員のスキルアップを図った。 | 要保護児童対策地域協議会実務者会議(連携調整部会、代表者部会)や個別支援会議を実施することで児童関係部署、機関との必要時の相談や連携がスムーズとなり児童虐待の早期発見、予防に繋がった。今後は地域との更なる連携を目的とした、顔の見える関係を構築するための場づくりを行っていく。 |
| 28 | 継続 | あさお子育てフェスタ開催事業 | 996,000 | 764,479 | 地域ケア推進担当 | 子育て世代が子育てにおける不安や悩みを抱え孤立することのないよう、行政と地域の子育て支援団体等が協働して「子育てフェスタ」を開催し、必要な子育て支援の情報を届け、地域の団体とのつながり・子育て世代同士の交流の機会をつくり、日ごとのストレスや悩みの解消につなげる。 | 第3回あさお子育てフェスタを9月17日(土)に開催した。 ・来場者 約2,800人 ・参加団体 約80団体 | 日頃から子育て支援を行う団体や地域の方の意見を取り入れながら企画検討を行い、内容の充実、参加者の利便性を図る必要がある。 |

6 コミュニティづくり事業

| | | | | | | | | |
|----|----|-------------------|-----------|-----------|-------|--|---|--|
| 29 | 継続 | 麻生区市民活動支援施設利用促進事業 | 2,261,000 | 2,110,374 | 地域振興課 | 麻生区市民活動支援施設(麻生市民交流館やまゆり)を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として実施する。 | ・市民活動団体交流イベント(5/29)、人材育成講座(アクティブシニアセミナー)1/14-2/18)等の実施 ・地域ネットワークサイトの運営及び「まゆりニュース」及び「あさお・ふれんず」による市民活動の情報提供・発信 ・市民活動相談窓口の運営(相談件数:40件) ・新しいコミュニティづくりに資する市民活動への助成(6団体) | 市民主体の中間支援組織が運営する麻生区の市民活動支援の拠点として、今後も「まゆり」を通じ市民活動支援を継続していく必要がある。今後は、生涯学習支援課で取り組んでいる「地域人材の発掘・育成」やボランティア、町内会・自治会と市民活動の連携について検討していく。 |
| 30 | 継続 | 町内会事業提案制度事業 | 813,000 | 351,975 | 地域振興課 | 地域住民相互のつながりや地域の課題解決力の強化を目指し、区内の町内会・自治会が行う地域課題解決等につながる事業を支援する。町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て、当該町内会・自治会に事業の実施を委託する。 | 百合ヶ丘交通安全防災啓蒙活動(百合ヶ丘交通安全、見守りの会第5(新百合ヶ丘第5自治会)、ふるさわ元気助(古沢町内会)、三井百合丘第二地区自治会災害等緊急避難の対応活動(三井百合丘第二地区自治会)と4町会から4事業提案があり、それぞれ実施され、地域の課題解決力向上につながった。 | 今後の事業提案増に対応できるような、要綱の見直しや予算要求を必要に応じて行っていく。 |
| 31 | 継続 | 麻生区地域功労賞事業 | 66,000 | 30,740 | 地域振興課 | 地域活動への関心を高めることを目的として、地域活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名で表彰する。 | 平成28年度に個人5名を表彰した。 | 例年、被表彰者5件程度で推移しているため、今後も継続する。 |
| 32 | 継続 | 麻生区市民活動支援施設活用事業 | 8,586,000 | 8,371,730 | 地域振興課 | 当該施設は、新百合ヶ丘南口・旧あさひ銀行ランド跡地の土地利用転換に伴い、応分の負担として開発業者が「市民活動の拠点施設」を整備することが決まり、平成19年4月に市に寄贈され、供用開始した。当該施設を多目的な市民活動の拠点施設として整備するとともに、市民の主体的な運営参加を実現することにより、市民活動の一層の推進を図る。 | ・市民活動の「場」の提供(会議室の平日昼間稼働率:89%) | 麻生区の市民活動の拠点として、多くの市民活動団体に活動の場を提供するなど成果を上げてきており、引き続き事業を継続して支援を実施していくほか、開館から10年が経過していることから、計画的な設備の修繕等についても検討していく。 |

平成28年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

| No. | 新規・継続 | 事業名 | 予算額 (円) | 決算額 (円) | 所管課 | 事業概要 | 実績 | 今後の方向性 |
|-----|-------|------------------------|------------|------------|---------|--|---|--|
| 33 | 継続 | 麻生区多文化共生推進事業 | 373,000 | 200,666 | 生涯学習支援課 | 市民と協働により事業を実施する。多文化共生を題材とし、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもの参加できる事業や、多文化共生社会への関心が薄い市民に対しても興味を持てるような様々な事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現を目指す。 | ・和光大学と連携したアジアシリーズ(3回)8月5、6、7日 ・国際ふれあい交流会(2回)9月11日、2月6日 ・外国人パネットーク(1回)11月5日 ・社会教育振興事業と連携したベトナム・カフェ(1回)11月3日 | 次年度も幅広い世代、外国人市民の参加者をより増加させられるような企画を検討しながら、事業を担う人材の育成等の課題についてもより効果的な取り組みを行うことが必要であると考えられます。 |
| 34 | 継続 | 市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業 | 724,000 | 550,000 | 生涯学習支援課 | 地域人材育成及び発掘による、市民活動・地域活動の活性化を図るため、外部団体への事業委託により、市民活動を支えるため、多様な分野で活躍する人材や地域課題解決のための人材育成など、総合的な視点に立った人材育成を図る。なお、本年度は区内の市民活動団体を調査して、データベースの構築を図る。 | 地域人材育成を目的に市民活動データベースを平成29年4月1日に運用開始予定である。現在約260件の市民活動が登録されている。 | 稼働前のため、今後課題が生じた場合、改善を検討する。 |
| 35 | 継続 | 区民祭開催経費 | 273,000 | 273,000 | 地域振興課 | 住みよい街づくりを目指し麻生区民の連携を深めながら、毎年10月第2日曜日に開催されている。40団体により実行委員会が構成され、各町会・自治会や協賛企業の協力もあり、区民手作りのまつりとして地域に定着している。 | 10月3日 第34回あさお区民まつりの開催 | 町会自治会をはじめとする多くの団体が開催へ向けて尽力し、麻生区随一のイベントであることから、今後も円滑な開催を図っていく方向です。 |
| 36 | 継続 | 麻生区市民提案型協働事業 | 2,602,000 | 1,043,012 | 企画課 | 地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定する。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業を委託して実施する。 | ・各所管課と連携して適切な事業運営を行った(協定、契約、予算執行、その他連絡調整など)。 ・今年度事業の中間報告及び3月13日に今年度実施事業の報告会を行った。 ・提案事業の実施スケジュールや審査基準について、関係所管課・機関や審査委員とも協議の上、検討を行った。 ・29年度事業の公募・選定を実施した。 | 現状、区から団体への委託事業という形で募集しているため、利益を出す事業に対して直接の支援ができず、事業の継続性という面からは効果が乏しいものとなっていることから、提案事業が制度の枠組みから外れても、団体が事業を自主財源で運営できるように、制度の見直し・改善が必要であると考えられます。 |

7 スポーツのまち麻生推進事業

| | | | | | | | | |
|----|----|---------------|-----------|-----------|-------|--|---|--|
| 37 | 継続 | スポーツのまち麻生推進事業 | 3,093,000 | 3,090,696 | 地域振興課 | 川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした、区内のさまざまなスポーツ資源を活用した事業を実施・支援するとともに、麻生スポーツセンターを核として、地域のスポーツ関係団体の活動の支援や情報交換を通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進する。 | ・平成29年3月15日(水)スポーツ・健康ロード/ノルディックウォーキング体験会ほかスポーツ教室8教室を開催 ・平成28年7月5日(火)第1回スポーツのまち麻生推進会議開催 ・平成29年2月25日埼玉地区総合型地域スポーツクラブGET設立 ・麻生スポーツフェスティバルにおいて10団体13大会のスポーツ大会を支援 | かわさきパラムーブメント推進ビジョンの策定に伴うパラムーブメントの全庁的な取組の推進及び平成29年度の川崎市スポーツ推進計画の改定を受けて、障害者と健常者が一緒に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催など、これまでの地域資源を活用した地域スポーツの推進の継続と、さらなる取組を推進する必要があります。 |
|----|----|---------------|-----------|-----------|-------|--|---|--|

8 地域課題対応事業その他事業

| | | | | | | | | |
|----|----|----------|-----------|-----------|-----|---|---|---|
| 38 | 継続 | 事務費等共通経費 | 1,795,000 | 1,213,399 | 企画課 | 地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品意等を確保する。 | 地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入した。また、郵便料、複写品費等を適正に執行した。 | 需用費や備品について見直しを行いながら、引き続き計画的に執行していく必要があると考えられます。 |
|----|----|----------|-----------|-----------|-----|---|---|---|

9 区役所サービス向上事業

| | | | | | | | | |
|----|----|------------------|-----------|-----------|-----|--|---|--|
| 39 | 継続 | 区役所窓口等サービス充実改善事業 | 5,377,000 | 5,331,352 | 区民課 | 区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの効率的、効果的かつ総合的な提供を図り、市民の視点に立った区役所サービスの充実を推進する。 | ・TV通訳システム(利用41回)により、外国人市民等へのサービスを提供した。 ・混雑期に窓口案内を配置し、適切な誘導を行った。 ・区役所内の壁紙を修繕し、快適に利用できる環境整備を行った。 ・区民サービスの充実に向けた接遇研修・クレーム研修(3回)を実施した。 | 市民の視点に立ったサービスの向上のため、市民ニーズ把握を常に行い、継続的に課題の発見と改善に取り組む必要がある。 |
| 40 | 継続 | 区政・地域情報提供事業 | 1,122,000 | 586,612 | 企画課 | 区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行う。 | ・区ホームページの更新 ・広報研修の実施(1月12日) ・新百合ヶ丘駅周辺案内サインの壁面更新 | 「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の方針を考慮しながら、区の広報広聴推進のあり方や広報研修の内容を検討し、引き続き、市民に対する効果的な情報提供などのあり方を、実務を通して検証していく。 |

10 区の新たな課題即応事業

| | | | | | | | | |
|----|----|-------------|-----------|-----------|-----|--|--|--|
| 41 | 継続 | 区の新たな課題即応事業 | 5,000,000 | 3,349,620 | 企画課 | 年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施する。 | ・風水害等発生時における避難所開設体制の強化事業 ・麻生区役所ステルスグレーチング取替その他補修工事 ・区の未拝寺丸柿イメージキャラクター「かきまるくん」着ぐるみ複製等業務委託 ・白山中学校跡地体育館内のバドミントンネットの支柱の購入 | 引き続き、次年度も、年度途中に区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応を行い、事業を実施していく。 |
|----|----|-------------|-----------|-----------|-----|--|--|--|

| | | | | | | | | |
|-----|--|--|------------|------------|--|--|--|--|
| 合 計 | | | 71,987,000 | 62,480,315 | | | | |
|-----|--|--|------------|------------|--|--|--|--|